

# FIAT 500 TWINAIR

vol.04 | 2011年式 | 走行距離=38800km



担当=310

年明け早々車検となるマイ・ツインエア。至って順調と思いきや、先日エンジンルームを開けてみると、冷却水がホースの隙間から漏れていることが判明。



街中走行主体の  
平均燃費は16km/ℓ  
もう少し伸ばさないと

これまでの総走行距離は39000km弱。平均燃費は16km/ℓとまずまずの数値(?)。これは特別に燃費走行せずに、7割程度はECOモードでの結果。アイドリングストップはほぼ無しです。

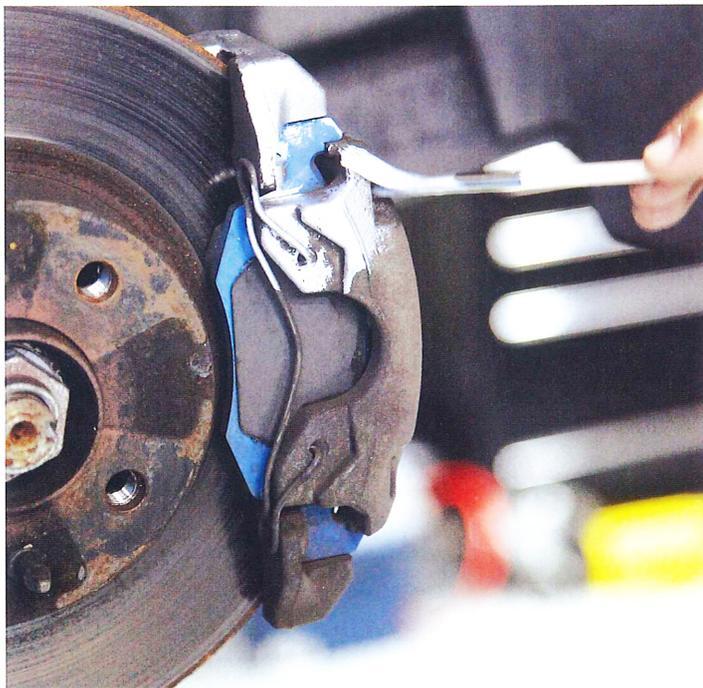


Tipo PADDOCK PASS

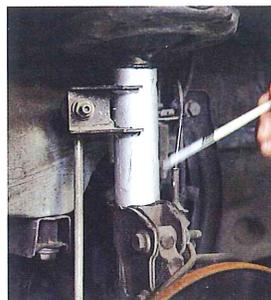
金属の分子に働くケミカルを試す!

## 塗るだけで何故変わる!?

文：佐藤考洋 撮影：永田 郷 取材協力：フィールカインド H P：http://www.feel-kind.com/



ミスリルは塗料のような溶剤の中に含有されている。少量を金属部分に塗るだけで、金属の分子に作用して効果が得られる。塗るだけで効果が得られるのが不思議だ。



リアのショックアブソーバーへミスリルを塗布。塗る範囲によって、作用の仕方が変わるといふ。

色が付いているので、どこへどのように塗布したか一目瞭然と判別できる。今回はショックやスプリングに施工してもらった。



マフラーは排気の流れる方向へ塗るのがポイント。排気の流れがスムーズになるそう。エンジン添加剤の「進化剤」を入れると、より効果が表れる。



ブレーキキャリパーに塗ることで、ペダルタッチも改善される。チンクの場合はより踏み込んだ領域でその違いが感じられた。

効果があると聞けば聞くほど、何となく疑ってしまうケミカル類。百聞は一見にしかずというところで、実際に自分のクルマで試してみても、その効果の真偽を確かめることにした。それが今紹介する「ミスリル」なるアイテム。ミスリルは金属分子に作用することで金属疲労を和らげ、金属が本来持つ剛性をしなやかさを蘇らせるといふ。例えばサスペンションケースにこのミスリルを塗布すると、内部のオイルの流れがスムーズになり、本来持つ性能を発揮してくれるらしい。マフラーに塗れば、排気抵抗を軽減させ、パワーやトルクが増え乗りやすくなるという。このミスリルは塗料のようになっていて、液体の中にその成分が混じっている。施工方法は刷毛で塗るだけ。ご覧の通りシルバーの塗料のようになっているので、どこに塗ったか一目で確認することができる。塗布する部分はショックだけに留まらず、スプリングやスタビライザーなどに塗っても効果は得られるそう。チンクにはショックとスプリング、ブレーキキャリパー、さらにマフラーの一部に施工してもらった。ちなみに施工時間は一時間程度。さて、気になる効果だが、施工前と施工後で違いを確認することが出来た。特に違いが感じられたのは乗

### 施工はスペシャルショップにて!

今回、チンクにミスリルを施工してもらったのは、東京・大田区にある「ラ・コルサ・テクニカ」。欧州車をメインに、年式問わずメンテナンスからチューニング、さらにはドライビング・レッスンの主催やレースサポートなど、クルマに関するあらゆる分野に対応してくれるスペシャルショップだ。同店で使用する様々なアイテムは、代表の佐藤氏が試して納得したもののみというこだわり。■ラ・コルサ・テクニカ 住所：東京都大田区東糀谷 5-12-7 TEL：03-5735-0036 HP：http://www.lacorsa.jp/



り心地だ。これまで微少入力域で細かな揺れを感じていたものが、不思議なことにその揺れが収まっている。フィアリングとしては、ショックそのものの容量が増えたような感じ、その衝撃をしっかりと吸収してくれる。「塗るだけで何故?」という思いがどうしても先行してしまうのだけれど、その違いが感じられてしまうのだから実に不思議だ。キャリパーは初期タッチにそれほど差は感じなかったものの、奥まで踏み込んだ時のカッチリ感が増した感じ。どうしても「?」が頭の中で先行してしまうのだけれど、効果はしっかり得られるから納得せざるえない。ちなみにミスリル自体の一般販売はされておらず、提携しているショップなどで施工してもらうスタイルとなる。詳細はHPでご確認を。